

# 劇あそび発表会がひらかれました

2月27日 豊明文化会館にて、**劇あそび発表会**が行われました。1月の身振りあそびから始まり、先生とクラスのみんなで少しずつ劇あそびへと発展させてきました。発表会は、その集大成を見てもらう場です。みんな本番のこの日をとても心待ちにしていました！本番直前に出演を待つ子どもたちは、せりふの確認をしたりしながら、

緊張してドキドキする気持ちと早くお父さんお母さんに見てほしいワクワクする気持ちとで、とてもいい表情をしていましたよ。



本番は、先生とクラスのみんなが一つになって、物語を表現していました。

笑いあり、感動ありでどのクラスも素晴らしいかったです。子どもたちはとても楽しそうに堂々とした様子でした。よくがんばりましたね(\*^\_^\*)

# 鳴海ヶ丘新聞

4月21日 木曜日

編集だより

## 園外保育

3月初めに、各学年にわかれて**園外保育**に行ってきました。青組はプラネタリウム、赤組・黄組は、東山動物園へバスで出かけました。一年間同じクラスで楽しいことも大変なことも一緒に過ごしてきたお友達ともうすぐお別れ



す。  
お弁当を食べながらたくさんたくさんお話してましたよ♡  
楽しかったね！

## 記念植樹...ブルーベリーの木

3月12日 年長・青組が修了記念に植樹を行いました。今年度は、ブルーベリーの木を植えることにしました。ブルーベリーは春にはつりがね型のかわいい花をさかせ、夏には青紫色の実がなるそうです。植樹したブルーベリーにも小さなつぼみがたくさんついていました。今年の夏にも実をつけるかもしれませんね。最後に、みんなで「大きくなーれ！」と3回唱えました。これから大きくなったブルーベリーを見るたびに青組のみんなのことを思い出すことでしょう。青組さんもブルーベリーの木といっしょにすくすく成長していくてくれることを願っています。



## 子育てコラム～『おとぎばなし』

日本のおとぎばなしは、架空の物語や作り話ではなく、子どもたちに分かりやすく世の中の真実を知らせる役目があります。昔ばなしの**«ももたろう»**を例に、具体的にその「こころと知恵」を探ってみましょう。

«ももたろう»はおとぎばなしの典型です。小さな男の子の桃太郎が、一芸を持ったししかも犬猿の仲といわれる三種の動物と協力して、鬼を打ち負かす。そして「桃太郎さん、桃太郎さん」と言って、三種の動物が繰り返しやってくる。動物好きな幼児のこころは満た

され、「きびだんご」は人生の機微を教えてくれます。ヒーロー桃太郎は、子どもに夢と希望を与え、生き方のモデルとなります。

「おとぎばなし」には、日本人の「こころと知恵」がちりばめられています。この伝承こそが日本人の誇りを醸成し、真の国際人を作ります。21世紀を担う子どもたちに、未来への進めるべ「おとぎばなし」を親から子へ、たくさん語り継いでください。

園長 岡田 勝彦

## 園環境...『ソーラーパネル』

黄組の棟に設置されている**ソーラーパネル**は、平成17年10月から発電しています。作られた**電気**は、職員室入口横の太陽光パネルに表示されます。子ども達はお天気と見比べながら、「今日ほどどのくらい**電気**がたまったかな？CO2はどのくらいいったかな？」と



チェックをしたりしています。**電気**に対する興味もわいて大切に使うにはどうしたらいいかを工夫したりしていますよ。

EIKO Information

園庭開放 おひさま広場 毎週火木金

詳細はコチラ▶

フレンド幼児教室

友だちづくり、集団あそび。

心身ともに健やかに成長、発達させることを願って開かれる教室です。

詳細はコチラ▶

ハンドブックご案内

幼稚園にハンドブックを見にきませんか？お子さまの成長に大切なものがわかります。

詳細はコチラ▶

50周年記念事業一冊出版

環境教育実践 ~未来へのとびら~